千葉県の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザ確認

千葉県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認(今シーズン国内49～51例目)されました。

国内49例目

確認日：令和7年1月31日

農場：千葉県旭市（肉用鶏 約7.7万羽飼養）

国内50例目

確認日：令和7年1月31日

農場：千葉県匝瑳市（採卵鶏 約8.1万羽飼養）

国内51例目

確認日：令和7年2月1日

農場：千葉県旭市（採卵鶏 約9万羽飼養）

野鳥では、2月5日現在、1道16県(北海道、福島県、新潟県、秋田県、滋賀県、徳島県、鹿児島県、福岡県、岩手県、福井県、鳥取県、熊本県、愛知県、埼玉県、千葉県、高知県、青森県)112件で本病ウイルスが確認されており、全国的に警戒が必要な状況です。農場へのウイルス侵入を防ぐため、以下の対策を徹底しましょう。

早期発見・早期通報を！！

- ❖病気が広がるのを防ぐには、早期に封じ込めることが極めて重要です。
- ❖そのためには、皆さんから異常鶏の早期発見・早期通報が必要です。
- ❖通報が遅れた場合、殺処分手当金の減額などの可能性もあります。

野生動物対策の再徹底を！！

- ❖野生動物によるウイルス侵入を防止するため、鶏舎や堆肥舎の防鳥ネットの破損の確認、鶏卵等の投棄を行わないなどを徹底しましょう。

飼養鶏等に異常があった場合は家畜保健衛生所に**早期通報**願います！！

平日の日中 0238-43-3217 夜間・休日 080-1840-0705